

保証時報

2022
vol.735

10

CONTENTS

P.01 >> 信用保証協会ニュース

- ・「伴走支援型特別保証制度」、兵庫県融資制度「伴走型経営支援特別貸付」の保証限度額が1億円に引き上げられました
- ・事業承継特別保証制度等の要件が緩和されました
- ・サンテレビの情報番組「あてなサン」に当協会が出演しました
- ・サンテレビで新しいCMが流れます
- ・「第10回北はりまビジネスフェア」に出展します
- ・「創業・経営セミナーたじま&専門家相談会」を開催しました
- ・「国際フロンティア産業メッセ2022」に出展しました
- ・「国際フロンティア産業メッセ2022」への出展支援を行いました

P.05 >> 金融機関インタビュー

P.06 >> ご当地いんぷお

P.07 >> フロンティア ひょうご レラテック株式会社

P.09 >> 保証状況



ヨドコウ迎賓館【芦屋市】 P6

**兵庫県信用保証協会**
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN
www.hosyokyokai-hyogo.or.jp



LINEによる情報発信をしています!!
配信を希望される方は、左のQRコードを
お読み取りいただき、友だち登録をお願い
します。

「新型コロナウイルスに
関する経営相談窓口」
設置中



信用保証協会は、中小企業のみなさまが事業資金の融資を受けられる時に、公的な立場でバックアップいたします。

地域とともに 地域のために

「伴走支援型特別保証制度」、兵庫県融資制度「伴走型経営支援特別貸付」の保証限度額が1億円に引き上げられました

当協会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者の皆さまに対して資金繰り支援を行うため、「伴走支援型特別保証制度」及び兵庫県融資制度「伴走型経営支援特別貸付」の取り扱いを行っています。

このたび、令和4年10月1日協会申込受付分から、両制度の保証限度額が6,000万円から1億円に引き上げられました。両制度の保証制度概要は以下のとおりとなりますので、ぜひご利用ください。

対 象 者	次の(1)～(3)のいずれかに該当し、経営行動計画を策定した方 (1) セーフティネット保証4号(新型コロナウイルス感染症に係るものに限る)の認定を受けた方 (2) セーフティネット保証5号の認定を受け、かつ次の①、②のいずれかに該当する方 ① 売上高等減少率が15%以上 ② 売上高等減少率が15%未満の場合、最近1か月間に対応する前年同月の売上高が令和2年1月29日時点における直近の決算の月平均売上高等と比較して15%以上減少 (3) 次の③、④のいずれかに該当する方 ③ 最近1か月間の売上高が前年同月の売上高と比較して15%以上減少 ④ 最近1か月の売上高が前年同月の売上高と比較して5%以上減少し、かつ前年同月の売上高が令和2年1月29日時点における直近の決算の月平均売上高等と比較して15%以上減少		
保証限度額	両制度を合算して1億円	保証期間	10年以内(うち据置期間5年以内)
保証料率	対象者(1)(2)の場合：年0.85%(経営者保証免除対応を適用する場合は年1.05%) ※ 国による保証料補助(当初保証料に限る)により、保証料の負担は年0.20%相当額となります。 対象者(3)の場合：年0.45%～1.90%(経営者保証免除対応を適用する場合は年0.65%～年2.10%) ※ 国による保証料補助(当初保証料に限る)により、保証料の負担は年0.20%～1.15%相当額となります。		
取扱期間	令和5年3月31日まで(協会申込受付分)		

※ 上記は制度の概要になりますので、詳細につきましては、各事務所・支所までお問い合わせください。

事業承継特別保証制度等の要件が緩和されました

事業承継の段階における資金調達をサポートするための「事業承継特別保証制度」をはじめ、以下の保証制度におけるEBITDA有利子負債倍率の要件について、一部緩和されました。

この緩和に伴い、これまで対象とならなかった方も対象となる場合がございますので、この機会にぜひご利用を検討ください。

要件緩和内容

緩和前 EBITDA有利子負債倍率※ が
10倍以内であること

緩和後 EBITDA有利子負債倍率が
15倍以内であること

※ EBITDA有利子負債倍率
= (借入金・社債 - 現預金) ÷ (営業利益 + 減価償却費)

要件緩和された保証制度

- 事業承継特別保証制度
- 経営承継準備関連保証
- 経営承継借換関連保証
- 経営力向上関連保証
- 地域経済牽引事業関連保証

各保証制度の詳細につきましては、

経営支援部 支援推進課 (TEL:078-393-4024) にお問い合わせください。

サンテレビの情報番組

「あんてなサン」に当協会が出演しました

当協会は、認知度向上のため、サンテレビの情報番組「あんてなサン」(9月18日(日)放送)の会社訪問コーナー「ふぉーかすサン」に出演しました。

番組内では、当協合理事長のインタビューや当協会が行っている経営支援の取組の説明のほか、株式会社ライツ社様、有限会社弁天堂様にご出演いただき、当協会を利用した感想等をお話いただきました。放送された映像は、サンテレビの公式YouTubeチャンネルに掲載されていますので、右のQRコードからぜひご覧ください。



あんてなサン(サンテレビ)
毎週日曜日22時～22時30分放送

放送内容は
こちらから



あんてなサン 過去の放送一覧



ライツ社様取材の様子



弁天堂様取材の様子



当協会の様子

サンテレビで新しいCMが流れます

当協会のより一層の認知度向上を目的として、昨年度に続いて新たにCMを制作しました。

今回制作したCMでは「中小企業・小規模事業者の皆さまに「寄り添った支援」」をコンセプトに、2頭のアシカがゆっくりと寄り添っていく様子を約15秒にまとめており、非常に印象的なものとなっています。

本CMは、サンテレビの情報番組「あんてなサン」やサンテレビのあらゆる番組内で放送されているほか、当協会のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



CMイメージ図

CMはこちらから



「第10回北はりまビジネスフェア」に出展します

10月21日(金)、22日(土)、23日(日)の3日間
にわたり、小野市うるおい交流館エクラにおいて
開催される「第10回北はりまビジネスフェア」に
当協会のブースを出展いたします。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。

会期 2022年 / 10:00～16:00

10月21日 金 22日 土 23日 日

場所 小野市うるおい交流館エクラ

(小野市中島町72)

主催 北はりまビジネスフェア実行委員会

「創業・経営セミナーたじま&専門家相談会」を開催しました

9月7日に、当協会但馬支所で「創業・経営セミナーたじま&専門家相談会」を開催し、10名(個別相談会2名、金融・経営相談会1名)の方に参加いただきました。

当日は、兵庫県よろず支援拠点コーディネーター 多田 やす子さん(中小企業診断士)から創業時にも役立つ「コロナ禍における販路拡大、経営課題解決の進め方とポイント」や各種補助金の紹介等について講演していただきました。

また、当協会から創業等に関する保証制度や経営支援メニュー、SDGsに関する情報等を紹介したほか、多田 やす子さんとの個別相談会、当協会職員による金融・経営相談会を実施しました。



「国際フロンティア産業メッセ2022」に出展しました

9月1日、2日の2日間にわたり、神戸国際展示場において開催された「国際フロンティア産業メッセ2022」にて当協会のブースを出展しました。当協会の出展ブースでは、多くの方々に保証協会を知っていただくため、パネルの展示やパンフレットの配布、デジタルサイネージの設置により、信用保証のしくみや各種保証制度の紹介を行いました。



当協会のブースの様子

「国際フロンティア産業メッセ2022」への出展支援を行いました

当協会は経営支援の取組の一環として、公募により選定した兵庫県下の保証利用企業に対して「国際フロンティア産業メッセ」への出展支援を毎年行っています。今年度は下記の11社の出展支援を行いました。

出展支援を行った事業者の皆さまからは「具体的な販売に結び付く商談ができて良かった」「弊社商品に興味をもってくれた方が大勢来てくれて、新商品のPRになった」などのご好評の声をいただきました。



出展支援先のブースの様子

出展支援 企業一覧

明石プラスチック工業株式会社
オークラ工業株式会社
株式会社CORNER
戸崎産業株式会社

株式会社旭テクノロジー
株式会社関西工事
J-TECH株式会社
株式会社ホーユーエルディング

株式会社旭パック
共栄テクノス株式会社
龍野コルク工業株式会社
(五十音順)



姫路信用金庫 駅南支店

〒670-0955
姫路市安田4-150
☎ 079-286-6900



姫路信用金庫
駅南支店
支店長
せりかわ
羅川 浩行 様

当支店は、JR姫路駅南側に広がるオフィスビルが建ち並ぶオフィス街の一角に位置しています。北側には県の総合庁舎、税務署などが、南側には姫路市役所があります。駅近であることに加えて、姫路バイパスへのアクセスも良く、賑わいのあるエリアとなっているため多数の金融機関が混在しています。数年前からは金融機関の移転、新築オープンが相次いでおり、金融機関激戦区としても知られています。



貴店のモットーを教えてください。

姫路信用金庫は、「すべてを郷土繁栄とともに」を創業理念として掲げ、1910年(明治43年)に創業しました。駅南支店は、この創業理念を地域社会で実現するために、「お客様の視点を大切にすること」「お客様のことを知りたいと考えて行動すること」をモットーとしています。



貴店の強みを教えてください。

現在、当支店の職員は16名です。お客様と接点の多い営業担当は6名在籍しており、内訳は20代が2名、30代が4名で、「何事も経験」を大切にしている行動的な世代となっています。これに加えて、目標を掲げると全職員が一致団結して目標実現に向かって動く機運が醸成されており、これが当支店の最大の強みです。



保証付き融資を推進する際に、活用している商品を教えてください。

昨年までは、主に伴走支援型特別保証制度の利用が多かったように思います。金利が安く、保証料の割引もあり、多くのお客様に喜んでいただくことができました。今年は、既存の借り入れを集約することも可能な「飛躍」や、創業関連融資に積極的に取り組んでいます。創業分野は介護、医療関連が多く、食品を扱う小売り業者の創業も支援しました。



今後の展開について教えてください。

今後の展開は、人口減少、高齢化という社会現象を抜きに語ることはできません。このようなことから事業承継や廃業なども増えることが予測できます。お客様のニーズに的確に対応するために、すでに本部の事業支援部と一体となってサポートに取り組んでいます。連携体制を強化し、地域社会に貢献したいと考えています。



芦屋市



芦屋川

清流と邸宅が織りなす
唯一無二の景観が印象的



芦屋川の水源は芦屋市の北部に位置する六甲山麓にあります。湧き出た水は、芦屋市と西宮市の境にあるゴロゴロ岳と奥山貯水池を経て、石仏谷など複数の沢を集めながら芦屋市の中央を南北に向けて一気に下っています。芦屋川の両岸には大規模な邸宅が並び、そのなかには灘五郷の造り酒屋「櫻正宗」八代目当主山邑太左衛門の別邸「旧山邑家住宅(ヨドコウ迎賓館)」もあります。六甲山を背に重厚な邸宅が軒を連ね、河岸の樹木や御影石の石積みなどが織りなす景観は、唯一無二。河岸はまた、市民の散歩や休憩スポットとして愛されているばかりか、夏はゲンジボタルの鑑賞会をはじめ、春には桜を愛でる「芦屋さくらまつり」などが開催され、多くの人で賑わいます。



芦屋市役所広報国際交流課

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号

TEL0797-31-2121

<http://www.city.ashiya.lg.jp/>

ちょっと寄り道



ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール
1970年、芦屋川のほとりにオープンした市民のためのホール。音楽、演劇、ダンスなど各種発表会が開催されています。



芦屋市立図書館打出分室

大阪で旧逸見銀行として建築され、芦屋市に移築。個人宅として使われた後、図書館に。国の登録有形文化財。



旧芦屋市宮宮塚町住宅

戦後復興期である昭和20年代に建てられた公営住宅。日華石の外壁が特徴的な現存する希少な建築物です。

兵庫の歴史遺産



ヨドコウ迎賓館

フランク・ロイド・ライトの建築思想を今に伝える名建築



フランク・ロイド・ライトが、日本で設計した住宅建築のひとつであり、ほぼ完全な状態で現存する唯一の建築物。建て主は、灘五郷の造り酒屋「櫻正宗」八代目当主山邑太左衛門で、竣工は1924年(大正13年)。1947年、淀川製鋼所が所有し、「ヨドコウ迎賓館」として一般公開が始まったのは1989年のことでした。やわらかな肌合いの大谷石やマホガニーの組み木が随所に施された同館は、自然との調和を大切にしたいライトの建築思想を今に伝える貴重な建築物として、1974年、国の重要文化財に指定されています。

ヨドコウ迎賓館

〒659-0096 芦屋市山手町3-10

TEL.0797-38-1720

<https://www.yodoko-geihinkan.jp/>

100年先も住みたい地球を目指し、 洋上風力発電の風況調査に取り組み 存在感を発揮。

起業の経緯

社会が、温室効果ガスの発生を極力抑える脱炭素社会の実現に向けて動き始めて久しい。脱炭素社会の実現には、二酸化炭素を排出する石油、石炭などの化石燃料に替わるエネルギー源が必要だ。化石燃料に替わるエネルギー源としては風力、太陽光、地熱、バイオマスなどが挙げられる。2010年頃から始まった政策で太陽光発電が普及した今、期待が集まっているのは「風」を活用する風力発電だ。そのなかでも、海上の風をエネルギーに替える「洋上風力発電」が注目を集めている。ところが日本の洋上風力発電の推進は、ヨーロッパと比較した場合、20年は遅れている。その理由は、「ヨーロッパには遠浅の海が多く、洋上風力発電タービンが設置しやすい」「年間を通じて平均風速が高く、高い採算性が見込める」ことが挙げられる。日本での推進が遅れている主な要因は、ヨーロッパのような遠浅の海が少ないことに加えて、台風や地震などの極端な自然現象が多く、風力発電設備に求められる設計が厳しい一面もある。日本が、このような課題を抱えながらも洋上風力発電の普及に取り組んでいるのは、日本が海に囲まれているという環境的メリットが大きい。だからこそ風力発電タービンを、どこに、どのように設置するかを決定するための事前調査である風況調査が重要ということになる。

2020年11月に創業したレラテック株式会社は、洋上風力発電タービンを設置するための風の観測をはじめ、シミュレーション、発電量の試算を専門とする風況コンサルティング会社だ。代表取締役を務めるのは、小長谷 瑞木氏。小長谷氏は、筑波大学大学院で環境科学を修了後、民間企業で再生可能エネルギー

起業と
どまん

FRONTIE
フロンティ

DATA

レラテック株式会社

代表取締役

こながや みずき
小長谷 瑞木 氏



〒658-0022

神戸市東灘区深江南町5-1-1

神戸大学深江キャンパス内

☎ 03-5829-4967(代表)

のコンサルティング業務に就き、神戸大学大学院博士課程で洋上風況調査に関する研究に取り組んだ経歴を持つ。小長谷氏は「洋上風力発電は、今、注目を集めているからこそスピーディーに行わなければなりません。しかし、一般的に会社は規模が大きくなると意思決定に時間がかかります。このような問題を何とかしたいと考え、業界の仲間や神戸大学大学院で同じ考えを持っている人たちと話をするうちに、『自分たちでやるしかない』となりました。神戸大学大学院の恩師で、洋上風力開発のための気象シミュレーションを研究されている大澤 輝夫教授にこのことを伝えて技術顧問として関わっていただき、起業に踏み切りました。レラテックのミッションは『気象×ICTでエネルギーと社会の未来を設計する』。ビジョンは『100年先も住みたい地球をつくる』です」と語る。

同社は、神戸大学発の研究開発型ベンチャー企業の第一号に認定されている。

事業内容について

起業メンバーは、大学院で気象学・気候学を修め、民間企業で再生可能エネルギーに関するコンサルティング業務を担った経験のある小長谷氏と、地理情報学、数値モデル、観測機材など、各自の研究テーマを持ちながら、洋上風力発電開発のための風況観測、解析業務を担い、神戸大学に在籍しながら神戸大学大学院でシミュレーション手法の開発などに取り組む研究者ら4名だ。このような経歴を持った研究者の組み合わせこそ、同社の独自性を物語るといえる。

「これまで風況観測のみを扱う会社やシミュレーションのみを扱う会社はありました。弊社は、気象学の観点で洋上風力発電を設置するための観測・解析・シミュレーションを一気通貫でできる体制になっています。また、これらは神戸大学のノウハウがサービスになっているため、高い技術レベルでサービスを提供することができます。これが弊社の強みであり、起業の理由でもあります」。



今後の展望

同社のクライアントは、発電事業者、大手電力会社、大手商社、再生可能エネルギー分野に特化した事業に取り組む事業者などだ。国をはじめ、各社が洋上風力発電導入に向けて本格的に動き始めたのは2020年頃のため、同社のように、風況調査を一気通貫で行う企業そのものが珍しく、起業直後から国内はもちろん海外からの問い合わせも多いという。

「国内の風力発電市場の発展のためには、取り組むべき多くの課題があります。弊社は、神戸大学発のコンサル会社として、産学間をつなぐ役目を担っていることから民間事業者や研究機関を巻き込んだプロジェクトを実施したいと考えています。さらに、学会発表や情報発信を積極的に行い、国内の市場発展に貢献したいと考えています」。

では、今後の目標は？

「会社の規模拡大に目標を置かず、100年先も住みたい地球をつくるために技術面、人材面、対応面などすべてにおいてアップデートして、洋上風力発電の正しい導入の道しるべになっていきたいと考えています」。

現在、日本における本格的な洋上風力発電プロジェクトは始まったばかりだが、30年後、洋上風力発電の国内市場規模は9200億円に達するとの予測がある。今、新たな4海域が予定されている公募入札を控えており、同社はこのような民間プロジェクトを技術面で支えているだけでなく、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の研究開発事業に参加するなど存在感を発揮している。同社は追いつき、年を追うごとに力強く歩む。100年先も住みたい地球をつくるために。

経営の
なか！
R HYOGO
ア ひょうご

信用保証協会を利用して運転資金を確保しました

研究職に就いていたため経営知識はほとんどなく、金融機関の方に助けていただいています。2021年4月信用保証協会の兵庫県融資制度「新規開業貸付」や同年8月、兵庫県融資制度「長期資金」を利用したときも「そんな融資があるのですね」と驚きました。事業を行っていくには、風速計などの機器のメンテナンスなど、あらゆる面で費用が掛かります。運転資金を確保でき、非常に助かりました。



詳しくは
こちらから



8月 保証状況

8月の
保証概況

(単位：件、百万円、%)

	当月中				当期中			
	件数	前年比	金額	前年比	件数	前年比	金額	前年比
保証申込	1,789	109.0	28,549	106.0	8,806	108.0	146,065	114.4
保証承諾	1,684	111.8	26,119	109.4	8,038	88.4	129,049	88.6
保証債務残高	—	—	—	—	130,600	99.9	1,847,183	96.2
代位弁済(元利)	120	134.8	1,650	97.5	507	140.8	5,780	130.5
実際回収(元損)	—	—	508	142.1	—	—	2,209	107.4

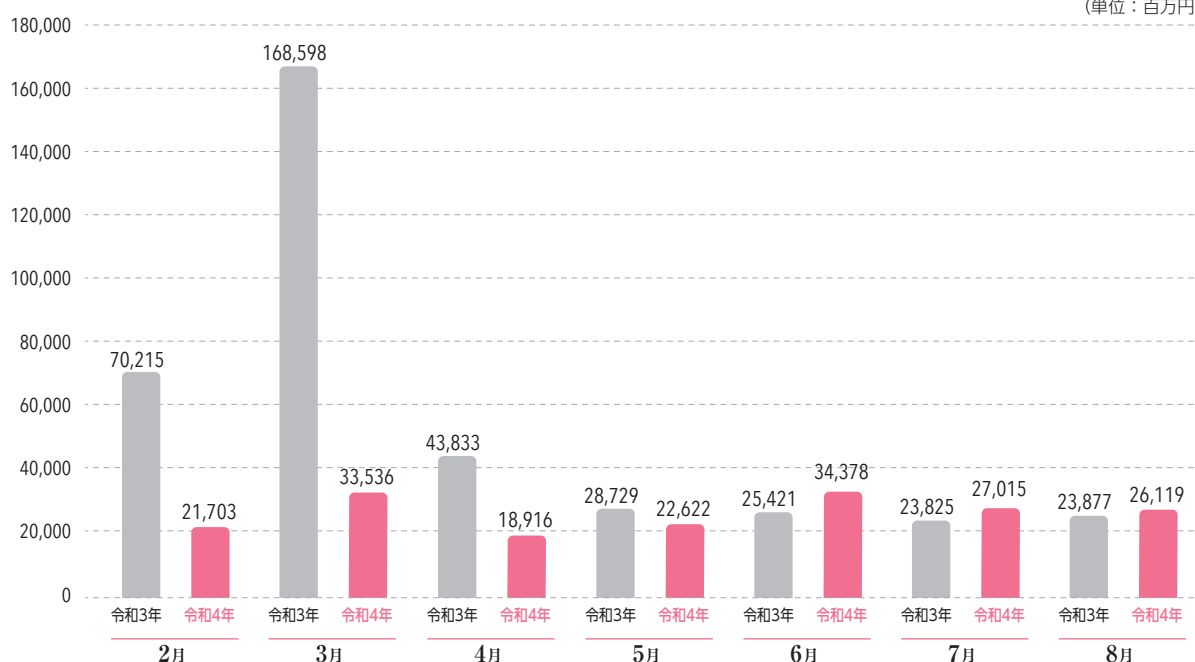
1 保証承諾

8月の保証承諾は1,684件(前年同月比11.8%増)、26,119百万円(同9.4%増)となり、前年同月と比べ、件数で178件、金額で2,242百万円上回った。

また、保証申込は1,789件(同9.0%増)、28,549百万円(同6.0%増)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

保証承諾(前年比較)

(単位：百万円)



資金使途別

8月の保証承諾のうち、運転資金は24,752百万円(前年同月比10.2%増)、設備資金は611百万円(同3.5%増)となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに上回った。

業種別

8月の業種別保証承諾の状況は、飲食店510百万円(前年同月比39.5%増)、卸売業4,275百万円(同27.2%増)、建設業7,341百万円(同19.2%増)、サービス業3,700百万円(同17.4%増)、運送・倉庫業1,781百万円(同17.0%増)等で前年同月を上回り、製造業3,783百万円(同2.8%減)、小売業2,775百万円(同15.0%減)、不動産業1,713百万円(同17.2%減)で前年同月を下回った。

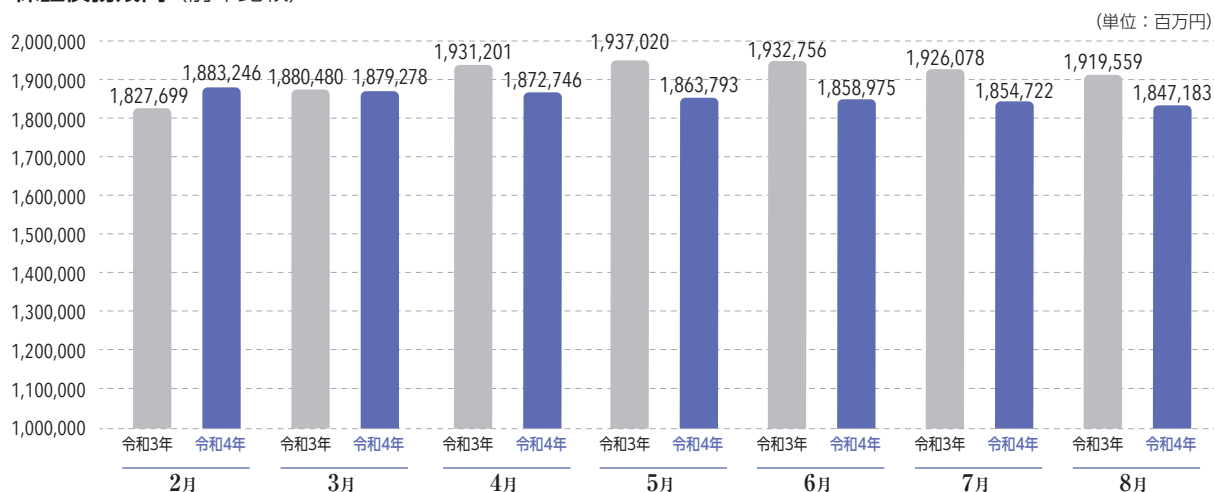
金融機関群別

8月の金融機関群別保証承諾の状況は、都市銀行564百万円(前年同月比60.1%増)、地方銀行1,949百万円(同20.9%増)、信用金庫17,579百万円(同11.8%増)、第二地方銀行3,861百万円(同8.9%増)で前年同月を上回り、信用組合2,166百万円(同17.9%減)で前年同月を下回った。

2 保証債務残高

8月末の保証債務残高は、130,600件（前年同月比0.1%減）、1,847,183百万円（同3.8%減）となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

保証債務残高（前年比較）

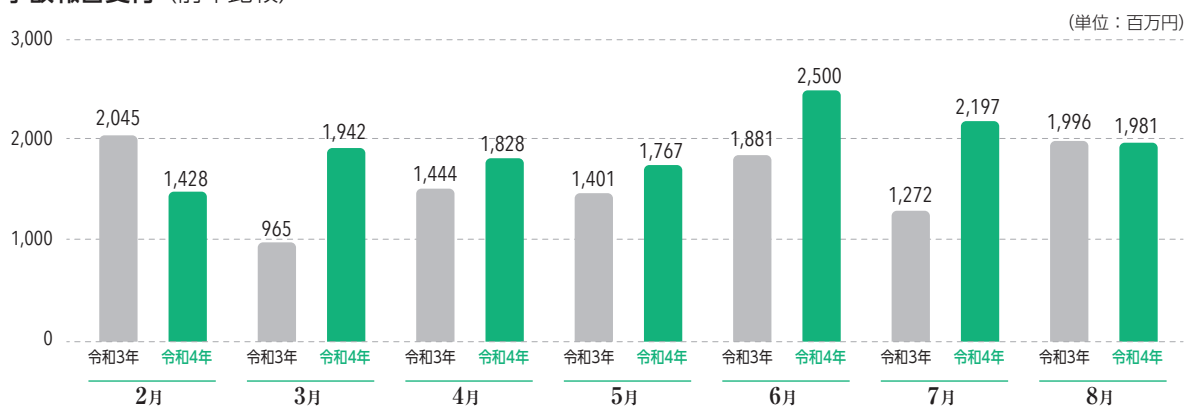


3 事故報告

8月の事故報告受付は、185件（前年同月比19.4%増）、1,981百万円（同0.7%減）となり、前年同月と比べ、件数は30件の増加、金額は15百万円の減少となった。

事故報告残高については、8月末で768件（同37.1%増）、9,234百万円（同30.9%増）となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに上回った。

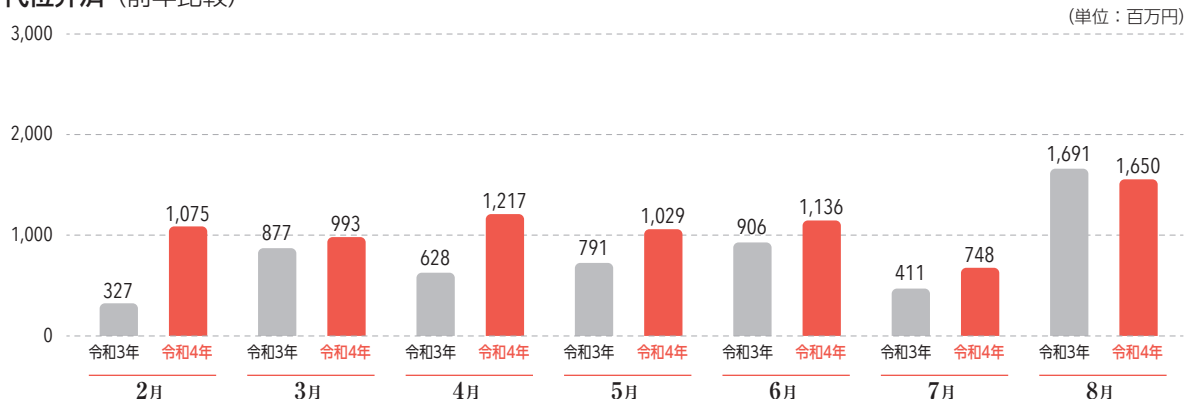
事故報告受付（前年比較）



4 代位弁済(元利)

8月の代位弁済は、120件（前年同月比34.8%増）、1,650百万円（同2.5%減）となり、前年同月と比べ、件数は31件の増加、金額は42百万円の減少となった。

代位弁済（前年比較）



信用保証をご利用できる方

以下①～④のいずれにも該当している事業者の方が信用保証をご利用できます。

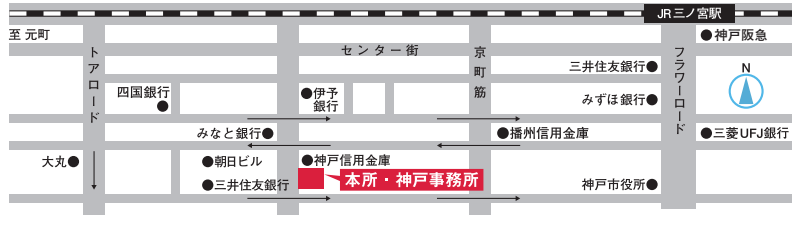
- ① 資本金または従業員数のいずれかが、右表の企業基準に該当していること。
特定非営利活動法人（NPO法人）の場合は、従業員数（製造業等：300人以下、卸売業・サービス業：100人以下、小売業・飲食業：50人以下）が該当していること。
- ② 個人の場合は、兵庫県内に住居、事務所または営業所を有し、事業を営んでいること。
法人の場合は、兵庫県内に本店または事業所を有し、事業を営んでいること。
- ③ 許認可等を必要とする事業の場合は、当該事業に係る許認可等を申込人名義で受けていること。
- ④ 事業上必要とする運転資金または設備資金であること。

業種・営業形態などにより、ご利用いただけない場合もございます。
詳しくは、当協会窓口までお問い合わせください。

兵庫県信用保証協会のネットワーク

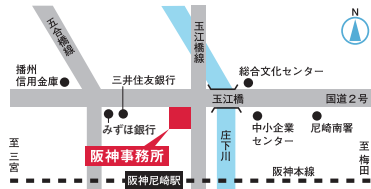
本所・神戸事務所

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62-1
本 所：TEL 078-393-3900（代表）
神戸事務所：TEL 078-393-3909 [担当地域]神戸市



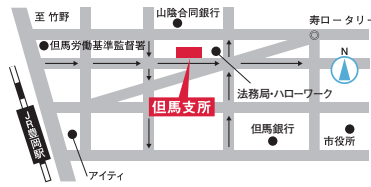
阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通3-96 尼崎商工会議所会館3F
TEL 06-6411-4133（代表）
[担当地域] 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡



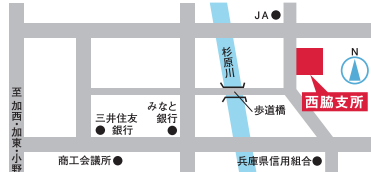
但馬支所

〒668-0024 豊岡市寿町8-7
TEL 0796-22-5171
[担当地域] 豊岡市、養父市、朝来市、美方郡



西脇支所

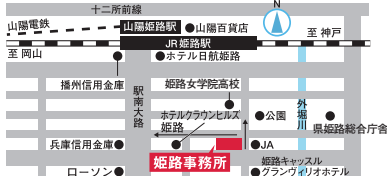
〒677-0015 西脇市西脇885-27
TEL 0795-22-6775
[担当地域] 西脇市、三木市、小野市、加西市、丹波篠山市、丹波市、加東市、多可郡



暴力団等の反社会的勢力とは取引いたしません。
第三者が介入・介入する申込はお断りします。

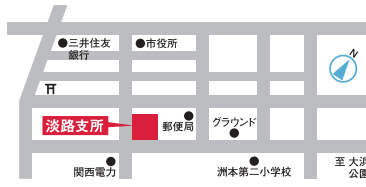
姫路事務所

〒670-0965 姫路市東延末3-27-2
TEL 079-289-3611
[担当地域] 姫路市、相生市、赤穂市、粟粟市、たつの市、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡



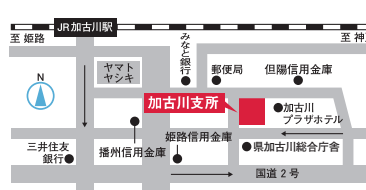
淡路支所

〒656-0025 洲本市本町3-1-8
TEL 0799-22-4493
[担当地域] 洲本市、南あわじ市、淡路市



加古川支所

〒675-0064 加古川市加古川町溝之口788
TEL 079-424-1105
[担当地域] 明石市、加古川市、高砂市、加古郡



業 種	資本金	従業員数
製造業等 ※1	3億円以下	300人以下
ゴム製品製造業 ※2	3億円以下	900人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業・飲食業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
ソフトウェア業 情報処理サービス業 旅館業	3億円以下 5,000万円以下	300人以下 200人以下
医療法人等	—	300人以下

※1 建設業、運送業、不動産業、旅行業を含みます。

※2 自動車または航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除きます。

国家戦略特区において商工業とともに農業を営む方も信用保証をご利用いただけます。

お客様総合相談室

本 所	寺 口 室 長	TEL 078-393-3905
	平 松 次 長	

本所・事務所・支所のお客様総合相談窓口

本 所 経 営 支 援 部	北 野 副 部 長	TEL 078-393-3920
神 戸 事 務 所	嶋 田 副 所 長 (保証相談一課、二課、三課)	TEL 078-393-3909
	奥 田 副 所 長 (調整相談一課、二課)	TEL 078-393-3915
阪 神 事 務 所	大 禮 副 所 長	TEL 06-6411-4133
姫 路 事 務 所	福 井 副 所 長	TEL 079-289-3611
但 馬 支 所	大 原 次 長	TEL 0796-22-5171
淡 路 支 所	岩 川 次 長	TEL 0799-22-4493
西 脇 支 所	按 田 次 長	TEL 0795-22-6775
加 古 川 支 所	戸 田 副 所 長	TEL 079-424-1105

代位弁済後のご返済等に関する お客様総合相談窓口

管 理 部	杉 之 原 副 部 長 ※本所	TEL 078-393-3914
-------	--------------------	------------------

（上記担当者が不在の場合は、代理の者が対応させていただきます）

- 事業承継をお考えの皆さまへ
事業承継相談窓口 TEL 078-393-3962
(経営支援部 支援推進課内)
- 女性企業家の皆さまへ
女性企業家相談窓口 TEL 078-393-3910
(経営支援部 支援推進課内)
- これから事業を開始する皆さまへ
創業準備相談窓口 TEL 078-393-3912
(経営支援部 支援推進課内)
- 事業経営全般に関する相談について
経営サポート相談窓口 TEL 078-393-3969
(経営支援部 支援推進課内)

保証時報の送付について

ご希望の方に保証時報を毎月送付いたします（送料は当協会が負担）。ご希望の方は総務企画部企画調整課（TEL 078-393-3922）までお申し出ください。

当協会はサンテレビの情報番組「あんてなサン」の番組スポンサーをしています



あんてなサン（サンテレビ）
毎週日曜日22時～22時30分放送